

新幹線まちづくり推進上越広域連携会議  
平成28年度 第1回総会

議案

日時 平成28年6月3日（金）午後4時15分～  
会場 やすね



---

## 目 次

---

|         |                             |     |
|---------|-----------------------------|-----|
| 第 1 号議案 | 平成 27 年度事業報告について            |     |
|         | .....                       | 1   |
| 第 2 号議案 | 平成 27 年度決算について              |     |
|         | .....                       | 1 1 |
| 第 3 号議案 | 連携会議のこれまでの取組の総括及び評価・検証について  |     |
|         | .....                       | 1 7 |
| 第 4 号議案 | 解散決議（案）及び解散に伴う財産等の処分（案）について |     |
|         | .....                       | 2 5 |

### 参 考 資 料（別冊）

新幹線まちづくり推進上越広域連携会議のこれまでの取組



# 平成27年度事業報告について



# 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議 平成 27 年度事業報告について

## 1 事業概要

北陸新幹線の開業前は、部会ごとにそれぞれ開業に向けた取組を実施してきたが、開業後の平成 27 年度は、5 市・事務局が中心となり事業を展開するとともに連携会議の今後のあり方について検討を進めた。

## 2 事業報告

### ○ 北陸新幹線「上越妙高駅」開業記念事業

北陸新幹線開業や越五の国の PR のための各種グッズを作成し、PR イベント等で配布した。

|   | 品名               | 実施日 | 作成数     | 配置先等               |
|---|------------------|-----|---------|--------------------|
| 1 | ビニールバッグ          | 8 月 | 7,000 枚 | 地域内外に配布            |
| 2 | 上越妙高駅自由通路フラッグ    | 2 月 | 48 枚    | 上越妙高駅自由通路に掲出       |
| 3 | 開業 1 周年記念クリアファイル | 3 月 | 2,000 枚 | 開業 1 周年記念フォーラム等で配布 |



1.ビニールバッグ



2.上越妙高駅自由通路フラッグ



3.開業 1 周年記念クリアファイル

### ○ 地域内イベントでの開業PR活動

| 実施場所 | 開催日(時期)       | イベント名        |
|------|---------------|--------------|
| 上越市  | 4 月 12 日      | 高田城百万人観桜会    |
| 柏崎市  | 7 月 26 日      | ぎおん柏崎まつり     |
| 佐渡市  | 8 月 21 日～23 日 | アース・セレブレーション |



高田城百万人観桜会 (H27.4.12)



ぎおん柏崎まつり (H27.7.26)



アース・セレブレーション  
(H27.8.21～23)

○ 「越五の国」情報発信事業

従来から引き続き、「ようこそ。越五の国へ。」ホームページを通じて当地域の魅力やイベント情報等を発信した。

○ 北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年記念事業

①北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年記念フォーラム

上越妙高駅開業1周年を記念して、新幹線が地域にもたらす可能性を考え、新幹線を含めた鉄道全般を身近な乗り物として捉えることで鉄道を活かしたまちづくりを考える機会とするためのフォーラムを開催した。フォーラムでは、越五の国の市民が新幹線開業後のまちの変化の発表を行い、ビジネス、通勤、観光などそれぞれの観点で開業後の変化を発表した。また、ゲストにお笑い芸人・中川家さんと横澤夏子さんを迎えて、鉄道の魅力をトークショーで紹介した。

【イベント名】北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年記念フォーラム  
 【日 時】平成27年3月12日（土） 午後1時30分～午後3時30分  
 【会 場】上越文化会館 大ホール  
 【参加者数】1,500人  
 【実施内容】・越五の国市民による開業後のまちの変化の発表  
                   ・上越妙高駅お出迎えキャラクター愛称発表  
                   ・中川家によるトークショー  
                   ・上越妙高駅写真展  
                   ・各種グッズ販売ブース（上越妙高駅お出迎えキャラクターグッズ、えちごトキめき鉄道グッズ、北陸新幹線上越妙高駅開業記念誌）



越五の国市民による発表



大塚いちおさんによる上越妙高駅お出迎えキャラクター愛称発表



中川家さんと横澤夏子さんによるトークショー



上越妙高駅写真展

※北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年記念関連事業

北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年を記念して、下記の関連イベントが開催された。

| イベント名                     | 開催日(時期)         | 主催者                                |
|---------------------------|-----------------|------------------------------------|
| 第11回全国どぶろく研究大会 in 上越      | 3月11日(金)        | 第11回全国どぶろく研究大会実行委員会                |
| 国際ご当地グルメグランプリ選抜特別大会 in 上越 | 3月12日(土)～13日(日) | 国際ご当地グルメグランプリ選抜特別大会 in 上越実行委員会・上越市 |

## ②「上越妙高駅」お出迎えキャラクター愛称募集事業

「モグラ」をモチーフとした上越妙高駅お出迎えキャラクターは、上越妙高駅開業に向けた話題創出、地域内の機運醸成を目的として、上越市出身の人気イラストレーター大塚いちおさんに作成を依頼した。当初は、上越妙高駅お出迎え隊のマスコットキャラクターで、正式な愛称がなかったことから開業後に上越妙高駅お出迎えキャラクターとして愛称を募集し、北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年記念フォーラムにて愛称が「ウェルモ」に決定した。

【事業名】上越妙高駅お出迎えキャラクター愛称募集事業

【日時】愛称募集（自由記述）：平成27年9月12日（土）～11月30日（月）

人気投票：平成27年12月22日（火）～平成28年2月19日（金）

【応募数】愛称募集（自由記述）：1,505件

人気投票：1,226件

【結果】自由記述で応募された候補の中から人気投票を実施。

投票の結果、最も得票数が多かった愛称「ウェルモ」に決定し、北陸新幹線「上越妙高駅」開業1周年記念フォーラムにて愛称を発表した。

【その他】上越妙高駅お出迎えキャラクター関連事業として、下記事業を実施した。

- ・上越妙高駅 SAKURA プラザにおいて、「隠れモグラを探せ！ in SAKURA プラザ」を実施し、SAKURA プラザへの誘客促進を行った。
- ・上越妙高駅お出迎えキャラクターデザイン使用規定を作成し、ウェルモのデザイン使用を呼びかけた。



## ○二次交通支援事業

上越妙高駅と佐渡汽船直江津港の直行連絡バスの利用促進によって、上越妙高駅の乗降者数増加を図るため、連絡バス運行事業者に対し運行に要する経費等の一部を負担した。

【事業名】二次交通支援事業

【期間】平成27年4月1日（水）～平成28年3月31日（木）

※佐渡汽船運休期間を除く

【実績】6,578人

## ○「上越妙高駅」を玄関口とした誘客支援事業

上越妙高駅発着のJRの観光列車「越乃 Shu\*Kura」号の利用客に対して、柏崎市や十日町市エリアの着地型旅行商品の開発及びその商品のPRを目的に実施した。本事業で作成したパンフレットは越乃 Shu\*Kura の乗車客に配布したほか、柏崎駅や十日町駅及び各観光協会等に設置をして周知した。



十日町駅におけるお出迎えのようす  
(平成27年10月25日)

## ○ ブルーインパルス祝賀飛行

北陸新幹線「上越妙高駅」の開業を記念して、第 90 回高田城百万人観桜会会場にて、4 月 10 日、11 日に航空自衛隊ブルーインパルスによる祝賀飛行を実施した。10 日のリハーサル飛行は実施されたが、11 日の本番はあいにくの天候により飛行が中止となった。



ブルーインパルス祝賀飛行のリハーサル飛行（4月10日）

## ○ 開業効果等測定事業

連携会議として取り組んできた各市のイベント PR の効果を検証するため、北陸新幹線の開業前後における各市のイベントの入込人数の変化を調査するとともに、客観的なデータ（ビッグデータ）により開業に向けて進めてきた取組成果の検証をするため、モバイル空間統計<sup>®</sup>等を用いて客層の変化（来場者の居住地、来訪動機等）を調査した。

### ①開業前後の各市の主要イベントの入込人数の比較

（単位：人）

| 自治体名 | イベント名               | 開催時期  | H26 年度      | H27 年度      | 増減      |
|------|---------------------|-------|-------------|-------------|---------|
| 上越市  | 高田城百万人観桜会           | 4 月   | 1, 313, 000 | 1, 332, 000 | 19, 000 |
| 妙高市  | 艸原祭（そうげんさい）         | 5 月   | 25, 000     | 40, 000     | 15, 000 |
| 佐渡市  | アース・セレブレーション        | 8 月   | 5, 500      | 7, 400      | 1, 900  |
| 上越市  | 謙信公祭                | 8 月   | 212, 600    | 243, 200    | 30, 600 |
| 十日町市 | 大地の芸術祭 <sup>※</sup> | 7～9 月 | 488, 848    | 510, 690    | 21, 842 |
| 柏崎市  | 松雲山荘紅葉ライトアップ        | 11 月  | 25, 795     | 31, 502     | 5, 707  |

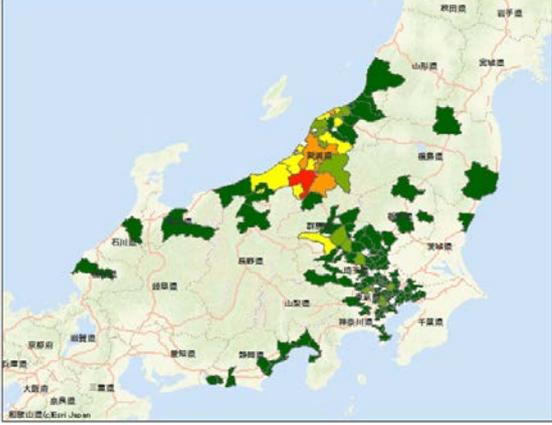
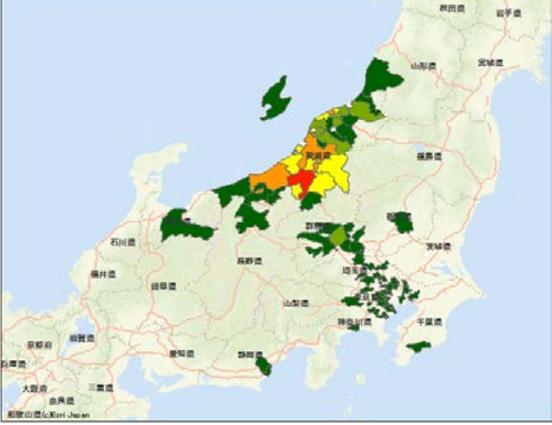
※大地の芸術祭は 3 年に 1 回開催（前回は平成 24 年度）

### ②開業効果等測定（NTTドコモ モバイル空間統計<sup>®</sup>）

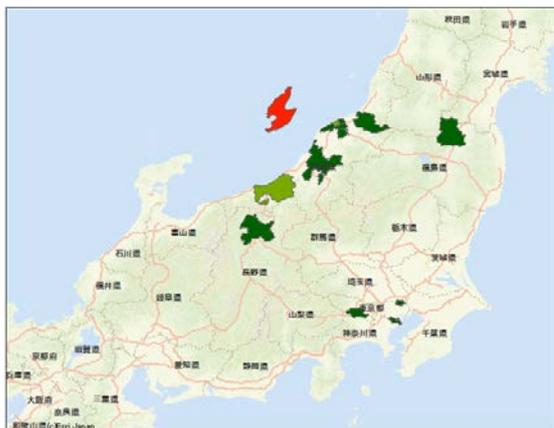
測定対象イベント及び期間

| 自治体名 | イベント名        | 期間                    |                       |
|------|--------------|-----------------------|-----------------------|
|      |              | 開業前                   | 開業後                   |
| 妙高市  | 艸原祭（そうげんさい）  | 平成 26 年 5 月 4 日～5 日   | 平成 27 年 5 月 4 日～5 日   |
| 柏崎市  | 松雲山荘紅葉ライトアップ | 平成 26 年 11 月 8 日～9 日  | 平成 27 年 11 月 7 日～8 日  |
| 十日町市 | 十日町雪まつり      | 平成 27 年 2 月 21 日～22 日 | 平成 28 年 2 月 22 日～23 日 |
| 佐渡市  | アース・セレブレーション | 平成 26 年 8 月 23 日～24 日 | 平成 27 年 8 月 22 日～23 日 |
| 上越市  | 謙信公祭         | 平成 26 年 8 月 23 日～24 日 | 平成 27 年 8 月 22 日～23 日 |

人口分布の居住地属性（開業後入込数ピーク時の同時時間帯比較）

|   |   |
|---|---|
| <p>妙高市 艸原祭</p>  <p>開業前：H26.5.5 19:00～</p>            |  <p>開業後：H27.5.5 19:00～</p>    |
| <p>・開業後は、石川県、富山県、長野県等、北陸新幹線沿線県からの来場者が増加した。</p>  |   |
| <p>柏崎市 松雲山荘紅葉ライトアップ</p>  <p>開業前：H26.11.8 20:00～</p> |  <p>開業後：H27.11.7 20:00～</p>  |
| <p>・開業前後とも、来場者の居住地に大きな変化は見られなかったが、周辺地域からの来場者が増加した。</p>  |   |
| <p>十日町市 十日町雪まつり</p>  <p>開業前：H27.2.21 16:00～</p>    |  <p>開業後：H28.2.20 16:00～</p> |
| <p>・開業前後とも多方面からの来場があるが、開業後は暖冬小雪の影響で来場者自体が少なかったことから、来場者の居住地も開業前よりも減少した。</p>  |   |

佐渡市 アース・セレブレーション



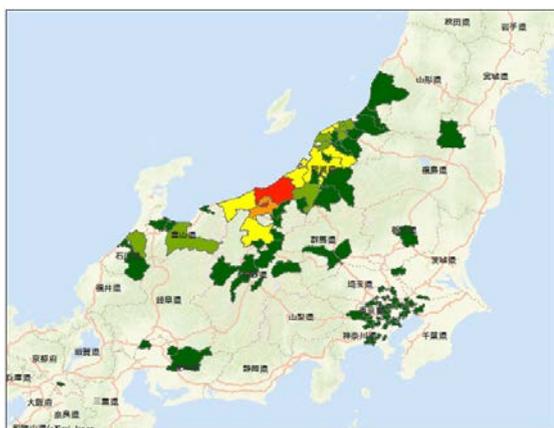
開業前：H26.8.24 16:00～



開業後：H27.8.23 16:00～

・開業後は、東京都、神奈川県、群馬県等、関東方面からの来場者が増加した。

上越市 謙信公祭



開業前：H26.8.24 16:00～

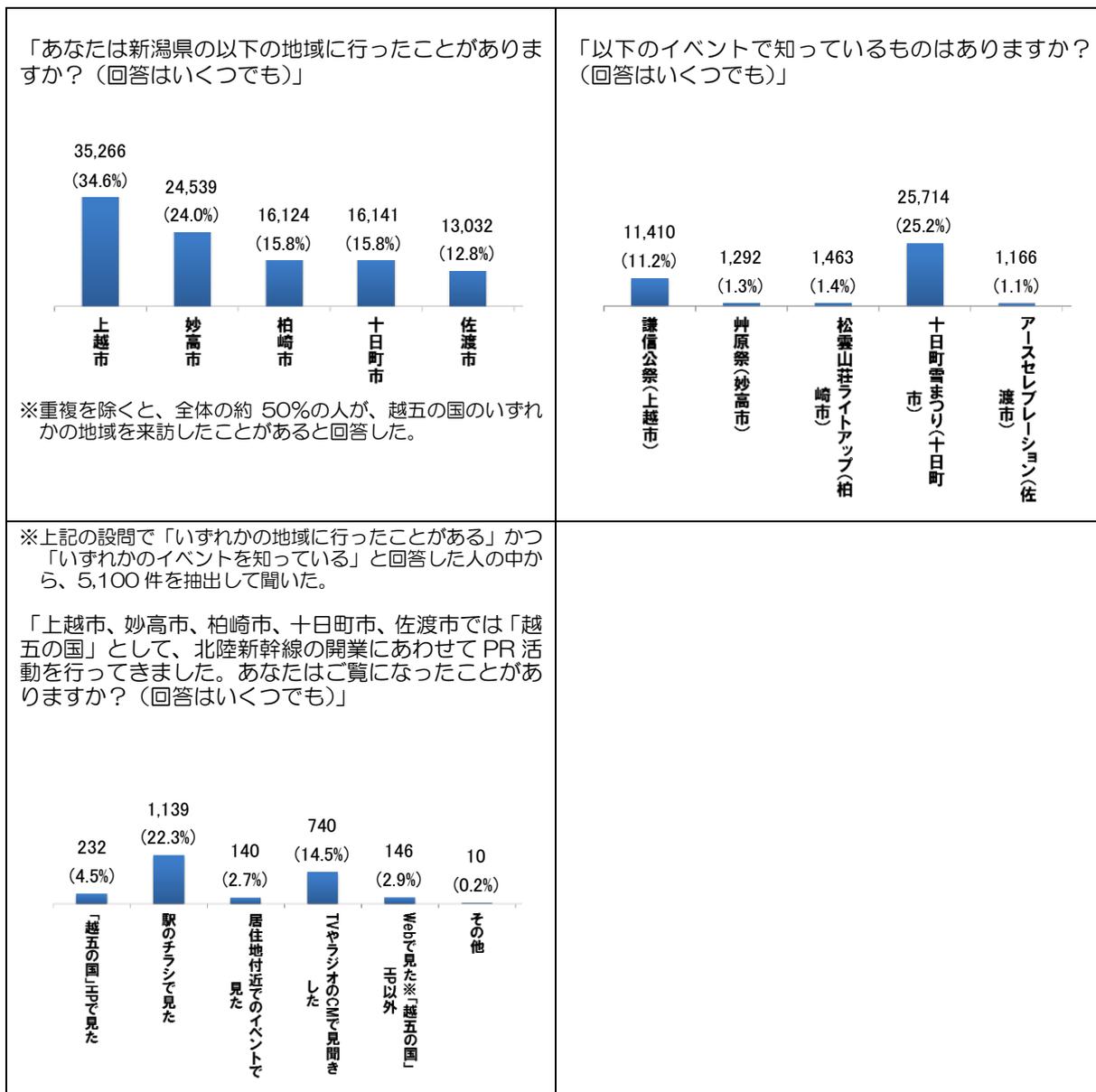


開業後：H27.8.23 16:00～

・開業前後とも多方面からの来場があるが、開業後は、石川県、富山県、長野県等、北陸新幹線沿線県からの新たな来場があった。

### ③開業効果等補完調査（NTTドコモ プレミアパネル®）

- ・調査期間 平成 28 年 3 月 3 日から 10 日（8 日間）
- ・対象者 年齢 : 20 歳以上  
性別 : 男女  
対象居住地：東京都、神奈川県、埼玉県、富山県、石川県、群馬県、長野県、大阪府
- ・回収数 102,045 件



調査対象者の居住地から 5 市への来訪状況及び開業効果等測定で対象としたイベントの認知度について、いずれかの市へ来訪したことがあり、かついずれかのイベントを知っている方を対象として調査を行った。その結果、連携会議で取り組んできた各種 PR 活動では「駅の子ラシで見た」（22.3%）、「TV やラジオの CM で見聞きした」（14.5%）などの手法が効果的であった。

○ **連携会議の在り方検討**

新幹線開業後の地域の変化について、事務局及び5市会議において議論を交わすとともに、連携会議の今後のあり方を検討した。また、行動計画推進部会の各分科会において、これまで進めてきた事業の評価・検証作業を実施した。

# 平成27年度決算について



## 平成27年度決算書

### 〈収入の部〉

(単位：円)

| 科目    | 当初予算額<br>① | 補正予算額<br>② | 現行予算額<br>③=①+② | 決算額<br>④   | 差引<br>⑤=④-③ | 備考 |
|-------|------------|------------|----------------|------------|-------------|----|
| 負担金   | 1,350,000  | 0          | 1,350,000      | 1,260,000  | ▲ 90,000    |    |
| 交付金   | 9,035,000  | 0          | 9,035,000      | 6,095,190  | ▲ 2,939,810 |    |
| 補助金   | 1,000,000  | 0          | 1,000,000      | 386,000    | ▲ 614,000   |    |
| 広告収入  | 36,000     | 0          | 36,000         | 36,000     | 0           |    |
| 雑収入   | 1,000      | 0          | 1,000          | 7,600      | 6,600       |    |
| 前年度繰越 | 6,230,774  | 0          | 6,230,774      | 6,230,774  | 0           |    |
| 計     | 17,652,774 | 0          | 17,652,774     | 14,015,564 | ▲ 3,637,210 |    |

### 〈支出の部〉

| 科目                   | 当初予算額<br>⑦ | 補正予算額<br>⑧ | 予算流用額<br>⑨ | 現行予算額<br>⑩=⑦+⑧+⑨ | 決算額<br>⑪   | 差引<br>⑫=⑩-⑪ |
|----------------------|------------|------------|------------|------------------|------------|-------------|
| 事業費                  | 15,806,849 | 0          | 0          | 15,806,849       | 12,007,146 | 3,799,703   |
| 「上越妙高駅」開業記念事業        | 980,000    | 0          | ▲ 80,000   | 900,000          | 742,608    | 157,392     |
| 「越五の国」情報発信事業         | 281,000    | 0          | 0          | 281,000          | 280,584    | 416         |
| 「上越妙高駅」開業1周年記念事業     | 1,825,849  | 0          | 80,000     | 1,905,849        | 1,862,426  | 43,423      |
| 二次交通支援事業             | 3,821,000  | 0          | 0          | 3,821,000        | 966,190    | 2,854,810   |
| 「上越妙高駅」を玄関口とした誘客支援事業 | 2,199,000  | 0          | 0          | 2,199,000        | 1,500,000  | 699,000     |
| ブルーインパルス祝賀飛行         | 2,700,000  | 0          | 0          | 2,700,000        | 2,670,138  | 29,862      |
| 開業効果等測定事業            | 4,000,000  | 0          | 0          | 4,000,000        | 3,985,200  | 14,800      |
| 事務費                  | 1,845,925  | 0          | 0          | 1,845,925        | 844,920    | 1,001,005   |
| 計                    | 17,652,774 | 0          | 0          | 17,652,774       | 12,852,066 | 4,800,708   |

### 〈差引額の部〉

|     | ④-⑪       |
|-----|-----------|
| 差引額 | 1,163,498 |

新幹線まちづくり推進上越広域連携会議

会 長 田中 弘邦 様

## 平成 27 年度 監査報告書

平成 27 年度歳入歳出決算について監査を行ったところ、収入支出は適正に行われ、関係書類帳簿の整備等事務の正確なことを認めました。

平成 28 年 5 月 23 日

新幹線まちづくり推進上越広域連携会議

監査役 上越市会計管理者

米持 明子



新幹線まちづくり推進上越広域連携会議

会 長 田中 弘邦 様

## 平成 27 年度 監査報告書

平成 27 年度歳入歳出決算について監査を行ったところ、収入支出は適正に行われ、関係書類帳簿の整備等事務の正確なことを認めました。

平成 28 年 5 月 24 日

新幹線まちづくり推進上越広域連携会議

監査役 妙高市会計管理者

平 井 智 子 



## 連携会議のこれまでの取組の 総括及び評価・検証について



**新幹線まちづくり推進上越広域連携会議 総決算(案)**  
(平成23年度～平成27年度)

〈収入の部：決算額〉

(単位：円)

| 科 目     | 平成23年度     | 平成24年度     | 平成25年度     | 平成26年度      | 平成27年度     | 総決算額<br>⑥=①+②+③+④+⑤ |
|---------|------------|------------|------------|-------------|------------|---------------------|
|         | ①          | ②          | ③          | ④           | ⑤          |                     |
| 1 負担金   | 790,000    | 990,000    | 1,380,000  | 1,350,000   | 1,260,000  | 5,770,000           |
| 2 交付金   | 10,263,786 | 39,438,974 | 68,464,851 | 125,411,599 | 6,095,190  | 249,674,400         |
| 3 広告収入  | —          | —          | 21,000     | 45,000      | 36,000     | 102,000             |
| 4 雑収入   | 864        | 5,534      | 3,320      | 2,288,303   | 7,600      | 2,305,621           |
| 5 繰入金   | —          | —          | —          | 2,186,563   | —          | 2,186,563           |
| 6 補助金   | 880,000    | 1,000,000  | 1,150,000  | 360,000     | 386,000    | 3,776,000           |
| 7 前年度繰越 | —          | 0          | 2,756,505  | 7,763,068   | 6,230,774  |                     |
| 計       | 11,934,650 | 41,434,508 | 73,775,676 | 139,404,533 | 14,015,564 | 263,814,584         |

〈支出の部：決算額〉

(単位：円)

| 科 目                      | 平成23年度     | 平成24年度     | 平成25年度     | 平成26年度      | 平成27年度     | 総決算額<br>⑫=⑦+⑧+⑨+⑩+⑪ |
|--------------------------|------------|------------|------------|-------------|------------|---------------------|
|                          | ⑦          | ⑧          | ⑨          | ⑩           | ⑪          |                     |
| 1 事業費                    | 11,604,680 | 37,973,424 | 62,324,567 | 128,717,684 | 12,007,146 | 252,627,501         |
| (1) 行動計画推進部会費            | 2,557,876  | 12,890,756 | 12,200,924 | 8,030,340   | —          | 35,679,896          |
| (2) 開業イベント・PR部会費         | 7,503,817  | 25,082,668 | 50,123,643 | 120,687,344 | —          | 203,397,472         |
| (3) 駅名等検討部会費             | 1,542,987  | 0          | 0          | 0           | —          | 1,542,987           |
| (4) 「上越妙高駅」開業記念事業        | —          | —          | —          | —           | 742,608    | 742,608             |
| (5) 「越五の国」情報発信事業         | —          | —          | —          | —           | 280,584    | 280,584             |
| (6) 「上越妙高駅」開業1周年記念事業     | —          | —          | —          | —           | 1,862,426  | 1,862,426           |
| (7) 二次交通支援事業             | —          | —          | —          | —           | 966,190    | 966,190             |
| (8) 「上越妙高駅」を玄関口とした誘客支援事業 | —          | —          | —          | —           | 1,500,000  | 1,500,000           |
| (9) ブルーインパルス祝賀飛行         | —          | —          | —          | —           | 2,670,138  | 2,670,138           |
| (10) 開業効果等測定事業           | —          | —          | —          | —           | 3,985,200  | 3,985,200           |
| 2 連携会議運営費                | 329,970    | 704,579    | 3,688,041  | 4,456,075   | 844,920    | 10,023,585          |
| (1) 総会開催費                | —          | 276,630    | 231,348    | 263,437     | —          | 771,415             |
| (2) 消耗品費、旅費              | —          | 427,949    | 3,456,693  | 4,193,000   | —          | 8,077,642           |
| 計                        | 11,934,650 | 38,678,003 | 66,012,608 | 133,173,759 | 12,852,066 | 262,651,086         |

(※) 事業費(4)から(10)については、上越妙高駅「開業後」の記念事業、支援事業等への支出

|                      |   |           |           |           |                  |                  |
|----------------------|---|-----------|-----------|-----------|------------------|------------------|
| 差 引<br>(収入の部 - 支出の部) | 0 | 2,756,505 | 7,763,068 | 6,230,774 | ⑤-⑪<br>1,163,498 | ⑥-⑫<br>1,163,498 |
|----------------------|---|-----------|-----------|-----------|------------------|------------------|

## 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議

### これまでの取組の評価・検証

連携会議では、「上越市新幹線まちづくり行動計画」に掲載された63の事業について、上越市が取り組む事業と、連携会議が取り組む事業（広域的・分野横断的・組織横断的な取組が必要な事業）に分け、後者及び連携会議加盟団体からの提案事業のうち、連携会議として取り組むものについて「行動計画推進部会」「開業イベント・PR部会」「駅名等検討部会」の3つの部会により取組を進めてきた。また、平成23年度は「気づき・啓発」、平成24～25年度は「仕込み、発信・PR」、平成26年度は「発信・PR、知名度向上、交流・誘客」を開業に向けたロードマップとして、様々な事業を展開してきた。

#### ●行動計画推進部会

行動計画推進部会は、連携会議に加盟している全団体で構成されており、「新幹線まちづくり行動計画（連携会議版）」に基づき、6つの分科会で新幹線の開業に向けた取組の検討や既存の事業の更なる磨き上げ、新たな事業の掘り起こしを行ってきた。

#### ○各分科会における取組及び評価・検証

##### (1) 観光・おもてなし醸成分科会

- ・上越妙高駅を新たな当地域の玄関口として位置づけ、越五の国の魅力を広く発信・PRすることに力点を置き、越五の国の各地を巡る広域周遊モデルルートを設定し、エージェントや利用者へモニターツアーを実施して、旅行商品の造成を各エージェントに働きかけを行った。
- ・開業後における上越妙高駅の利用動向を調査した結果などから、当駅を利用する団体ツアーの目的地は佐渡市が多く、東北や北関東など、他の地域を目的地とするツアーの中に妙高市や柏崎市にも立ち寄りをしているケースが見られた。
- ・大手旅行会社の旅行パンフレットを見ると、上越市の観桜会・謙信公祭や十日町市の大地の芸術祭など、各市の主要イベントそのものを目的としたツアーも多く造成・掲載されたところであり、上越妙高駅を越五の国の玄関口としてPRしてきた活動の成果は大きく表れているものと考えられる。
- ・一方で越五の国で完結する周遊型のツアーの造成は残念ながら実現には至らなかった。
- ・その理由として、旅行エージェントは、色々な素材のPRやそれを組み合わせた広域周遊ルートの提案には、新しい素材に対する驚きや期待などの一定の反応はあるものの、他にはない「特別感」を求める傾向が強いことから、これらへの対応を検討し、今後の商談会にいかしていく必要がある。
- ・今後も関係団体が連携する中で、全国に広く地域の魅力をPRするとともに受入体制の整備を図る必要がある。

##### (2) 「食」検討分科会

- ・越五の国の食を代表する米、酒、日本海の幸、地場産肉のPRに向け、共通のガイドブックなどを作成し、地域全体の食の魅力を広くPRすることができた。
- ・「食」の魅力を様々な機会を通じて広く全国へ周知、発信することについては、今後も継続していく必要がある。

### (3) 新駅周辺整備・交通アクセス分科会

- ・越五の国二次交通ガイドマップやポケット時刻表の作成、配布を通じて来訪者がスムーズに目的地へ到達できていると考えられる。
- ・また、駐車場やロータリーをはじめとする駅施設についても開業直後の初期トラブルや特定の繁忙期を除き、概ね当初想定したとおりの利用状況に落ち着いてきており、それぞれの施設は設置目的に基づいて適切に利用され、良好な利用環境が提供できている。

### (4) コンベンション分科会

- ・北陸新幹線の開業による首都圏をはじめとして他都市圏等からの時間的距離の短縮をいかし、全国規模の学会及びスポーツ大会を誘致するとともに、北信越エリアを中心とするスポーツ大会を誘致することができた。
- ・北陸新幹線の開業効果を活用し、他都市圏等からの時間的距離の短縮をいかし、学会や総会、会議、見本市、展示会など各種コンベンションを積極的に誘致するとともに、全国規模のスポーツ大会や北信越エリアを中心とするスポーツ大会の誘致活動と支援活動を今後も継続していく。

### (5) 産業振興・企業誘致分科会

- ・交通利便性、立地優位性をいかした企業誘致事業、ものづくり産業の活性化事業、大都市圏等の経済団体との連携事業の3つの事業に取り組んできた。
- ・このうち、ものづくり産業の活性化ではメイド・イン上越認証品など新たなお土産品の開発へとつながり、大都市圏等の経済団体との連携事業は連携会議構成団体における北陸新幹線に関する意見交換機会へとつながっている。
- ・企業誘致事業については、駅周辺への立地は一部に計画や構想があるものの実現していないが、新幹線の開業が上越市内における企業誘致の一助となっていると考えられ、もう少し長いスパンでの取組が必要と考えられる。

### (6) 医療・保健・福祉分科会

- ・新幹線通勤による常勤医師及び非常勤医師を招致することができたケースが見られることから、引き続き新幹線による交通アクセスの利便性をPRしていくことが必要。
- ・観光・医療分野の連携によりモニターで実施したメディカル・グリーンツーリズム事業は、妙高市の「総合健康都市」実現の取組として拡大され、妙高型クアオルトの開発へとつながっている。

## ○総括

各分科会における評価・検証作業の中では、開業に向けた取組が奏功し、当初想定していた開業効果を概ね発現させることができたものと評価している。

こうしたことから、開業に向けた取組を推進するという連携会議の所期の目的は、行動計画推進部会としては概ね達成されたものと考えられる。

一方で、今回確認された開業効果を今後も維持しながら更に高めていくためには、これまでの取組を継続していくことが大切であることから、5市の連携関係をベースとして、今後はそれぞれの自治体・団体においてこれまでの取組を承継し、新幹線開業後のまちづくりにいかされることが望ましい。

## ●開業イベント・PR部会

開業イベント・PR部会は、加盟団体のうち、北陸新幹線の開業に向けたPRイベントや企画などに主体的に取り組む団体で構成され、開業に向けた地域内の機運醸成に向けたイベントの実施やグッズの作成、地域の知名度向上と上越妙高駅開業PRのための首都圏、関西圏における広域開業PR活動、そして開業記念イベントを実施してきた。

## ○これまでの取組

### (1) 地域内開業PRについて

- ・平成23、24年度は、新幹線開業に向けた地域の機運醸成を図るために広告塔を設置したほか、PRグッズを作成し、「市民現場見学会」や「絵手紙コンテスト」など市民を対象としたイベントにおいて活用してきた。また、各市の主要イベントにおいてPRブースを出展し、各地域の開業に向けた機運醸成を図った。
- ・平成25年度は、引き続き「市民現場見学会」を開催し、開業に向け地域のさらなる機運醸成に努めるとともに、開業に向けた期待感を地域全体で高めていくため、5市持ち回りのリレーフォーラムや「試験走行列車歓迎セレモニー」、「北陸新幹線開業1年前イベント めざせ!2015 人 人文字を描こう!!」などのカウントダウンイベントを開催した。
- ・平成26年度は、北陸新幹線長野～金沢間で始まった「W7系」を使用した試験走行にあわせ「W7系新幹線『上越妙高駅』初入線歓迎セレモニー」を実施したほか、開業150日前には「上越妙高駅鉄道まつり」を実施するなど、様々な取組を通じて開業日に向け地域の期待感をより一層高めてきた。

### (2) 広域開業PRについて

- ・平成25年2月に、開業に向けた「発信・PR」の取組をより強化していくため、連携会議を構成する5市を直感的に表すシンボルマーク「ようこそ。越五の国へ。」を作成した。このマークをパンフレットやポスター等のPR媒体に組み込むことで、統一的な旗印とし、首都圏、関西圏を中心に開業プロモーションを展開した。
- ・このプロモーション活動は開業日の約1年前から本格的に展開し、首都圏、関西圏、北陸圏において20回にわたり上越妙高駅の開業PRと「越五の国」全体の魅力をPRした。具体的には、JR各社が新潟県への送客に取り組む「新潟デスティネーションキャンペーン」の開催にあわせ、北陸新幹線の起点である東京都で越五の国の魅力を詰め込んだ「ようこそ。越五の国へ。魅力ぎっしり博」を開催したほか、開業50日前にはJR上野駅で「うまさぎっしり新潟産直市～ようこそ！越五の国へ～」と銘打って、越五の国のご当地キャラが勢揃いしたイベントを開催し、観光パンフレットの配布や特産品の販売を通じ、大勢の人に上越妙高駅開業と越五の国の魅力を広くPRすることができ、開業イベントに向け大きく弾みを付けることができた。

### (3) 開業記念イベントについて

- ・上越妙高駅の開業を祝い、越五の国地域の魅力を大きく発信し、地域活性化のきっかけづくりにつなげることを目的に当地域の魅力である「食」「酒」「祭」「雪」をテーマに「来訪者へのおもてなし」を加えた魅力あるコンテンツを展開していくとともに、市民からの具体的な企画提案を可能な限り取り入れていくこと基本とし、様々な議論を重ね、イベントの内容を検討してきた。

- ・検討の経過としては、決定したテーマごとに目的を達成できる具体的なコンテンツを選定・検討していくため、当部会の構成団体に様々なノウハウを持つ団体やイベントの担い手となる外部の団体を加えた中で「食・酒」コンテンツ、「雪」コンテンツ、「祭」コンテンツ、「おもてなし・誘客」コンテンツの4つの実行委員会を設置した。
- ・平成26年11月にはイベント名である「つながる。ひろがる。越五の国 ～さくらと雪の平原から～」と全体概要を、翌年2月にはイベントの詳細を発表した。
- ・「食・酒」コンテンツとしては、越五の国の食を代表する米、酒、日本海の幸、地場産肉を提供し、会場に訪れた大勢の人に越五の国の味覚を堪能していただいた。
- ・「雪」コンテンツとしては、「雪＊ふれあい広場」を設け、雪の滑り台や除雪車両の展示をしたほか、「灯の回廊 in 上越妙高駅」と題して開業を祝う2015個の記念の灯を地域住民と共にともした。
- ・「祭」コンテンツとしては、メインステージである「祝祭ステージ」において各市を代表する様々な伝統芸能やパフォーマンスを披露したほか、東西それぞれに設けたミニステージや自由通路では各地域の市民団体による演奏やパフォーマンスが披露され、上越妙高駅の開業を盛り上げた。
- ・「おもてなし・誘客」コンテンツとしては、越五の国に親和性が高く、駅舎のコンセプトとしても用いられている「桜」をモチーフとして「越五“夢サクラ”プロジェクト」を展開した。具体的には開業当日に来場者に「おもてなしのこころ」を伝える「夢サクラ短冊」を募集し、約2,600枚が集まったほか、越五の国の桜を募集して開業当日に一足早く桜を咲かせて来場者を歓迎するなど、5市市民の気持ちを一つに結実させる事業展開を図った。

## ○総括

開業記念イベントでは2日間合計で約85,000人の集客があり、上越妙高駅の開業を大いに祝うことができ、あわせて当地域の魅力を広く発信できたと捉えている。

また、平成27年度に実施した開業効果測定では、越五の国における主要イベントの新幹線開業前後で入込人数が、いずれも軒並み増加していることが明らかとなった。さらに開業に向けて進めてきた取組成果を客観的なデータ（ビッグデータ）により検証をするため実施した開業効果測定において、いずれかの市へ来訪したことがあり、かついずれかのイベントを知っている方を対象として調査を行ったところ、連携会議で取り組んできた各種PR活動では「駅のチラシで見た」（22.3%）、「TVやラジオのCMで見聞きした」（14.5%）と回答されており、これまで実施してきた広域PRが成果として現れたものと評価できる。

以上のことから、開業イベント・PR部会としての目的は十分達成できたものと考えられる。

## ●駅名等検討部会

駅名等検討部会は、地域の学識研究者、商工団体、観光団体、農業団体、市民団体、市民委員、行政機関の委員で構成され、仮称扱いとなっていた新幹線駅の名称や自由通路をはじめとする施設の名称について検討してきた。

### ○これまでの取組

#### (1) 駅名の検討について

- ・駅名の検討は平成 23 年 5 月から開始し、「地域を総称し、地域を P R する名称で、100 年先も愛される駅名」を考えていくことを目標に、「人気投票で決定しないこと」「理論的な考察に基づき、駅名を検討すること」を検討にあたっての基本方針として、検討過程を広く市民や地域の方に公開しながら 10 回にわたる議論を重ねた。
- ・検討にあたっては、駅名の全国公募や「新幹線駅名についての市民意見交換会」を開催する中で地域内外から駅名に関する多くの意見や提言をいただくことができた。特に駅名の全国公募では、1 万 1,863 通 3,150 種類の駅名候補が出され、新駅に対する関心の高さ、北陸新幹線に対する期待の大きさが伺えた。
- ・新駅の名称は、こうした意見や提言も参考に平成 24 年 4 月 10 日付けで第 1 案を「上越駅」、第 2 案を「上越妙高駅」と併記した「北陸新幹線上越（仮称）駅の駅名（案）について検討報告書」としてとりまとめ、同年 5 月 29 日に連携会議として J R 東日本新潟支社へ、同年 8 月 7 日に J R 東日本本社へ新駅の名称決定の際に配慮するよう要望した。

#### (2) 駅東口・西口、自由通路の名称の検討について

- ・駅施設名については上越市内を対象に募集し、その結果を参考に 6 回にわたる議論を重ねた。
- ・平成 26 年 1 月 31 日付けで駅東口を「東口」、駅西口を「西口」、自由通路を「脇野田通り」とする案を上越市長へ提案した。

### ○総括

平成 25 年 6 月 7 日に J R 東日本が駅名を発表した際、上越妙高駅決定に至る理由として「地域を代表する地名であること、鉄道を利用されるお客様にとってわかりやすいことなどを総合的に勘案し、連携会議などの地元からの要望も参考に正式名称を決めた」とコメントしている。また、駅施設についても連携会議の提案した名称が採用されたことから当部会で議論を重ねてきたことがしっかり反映されたと考えられる。

また、民間事業者なども新幹線開業を契機に「上越妙高」という名称を施設名やイベントの冠に使用しているケースも見られることから、これまでの当部会での議論には大きな意義があったものと評価できる。「上越妙高駅」が 100 年先も大勢の皆さんに愛される駅となるよう、連携会議の取組が越五の国の中で今後も引き継がれていくことを望む。

連携会議の解散決議（案）  
及び  
解散に伴う財産等の処分（案）  
について



## 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議の解散について（決議（案））

当会議は、北陸新幹線上越妙高駅開業に向け、上越市、妙高市、柏崎市、十日町市、佐渡市を圏域とする「越五の国」全体のまちづくりを総合的かつ計画的に実施することを目的に平成23年4月28日に設立した。

この間、当会議では、四季折々の美しい景色や多彩な食に代表される「越五の国」の魅力を「気づき・啓発」「検討・仕込み」「発信・PR」という段階を踏みながら磨き上げ、全国に向け発信していくことを活動の中核としながら、新たな広域の玄関口となる駅名の検討や時宜を捉えたイベントの開催など、開業に向けた地域全体の機運醸成にも努めてきた。

そして開業に向けた取組の集大成として臨んだ開業イベントには、県内外から85,000人もの方々から参集いただき、新たな時代の第一歩を華々しく踏み出すことができた。

現在、広域の玄関口である上越妙高駅の乗降客数は当初の予想を上回る水準で推移し、この間、各地域において開催された様々なイベントの入込客も軒並み増加するなど、これまでの取組が「越五の国」全体の賑わい創出へとつながっている。

こうした状況に鑑み、北陸新幹線の開業に向けた地域全体の取組を推進していくという当会の所期の目的は果たされたものと捉え、次のとおり決議する。

### 記

- 1 当会議は平成28年6月3日（金）をもって解散する
- 2 開業来地域にもたらしている「北陸新幹線の開業効果」を今後も大きく伸ばしていくため、これまでの取組を観光面での連携を目的とした既存の連携組織の活動に活かしていく
- 3 当会議発足を契機に生まれた「上越妙高駅を玄関口とする5市のつながり」は今後も大切にし、必要に応じて、適宜、連絡会議を開催することにより、観光振興だけでなく新幹線を活かした地域づくりを共に考えていくこととする

## 解散に伴う財産等の処分について（案）

当会議の解散に伴う残余財産の処分は次のとおりとする。

### 1 物的財産及び知的財産

公文書、データ保存用ハードディスク等の物的財産及び「越五の国」ロゴの管理やお出迎えキャラクターの使用権、これまでの撮影データ等の知的財産については、事務局代表の上越市新幹線・交通政策課が引き継ぎ、適切に管理する。

### 2 残金の取扱について

解散時における残金 1,163,498 円は、下記のとおり処分する。

- (1) 当会終了に伴い生ずる次の経費に充てるものとする
  - ア. 平成 28 年 12 月 31 日までのホームページ運営費
  - イ. 総会の開催経費（会場費、通信運搬費、消耗品費等）
  - ウ. 不要な備品等の処分費
  - エ. 平成 27 年度決算以降、連携会議運営に要する事務経費  
（総会開催以前に生じた事務経費含む）
- (2) 上記経費に過不足が生ずる場合の処理は次のとおりとする
  - ア. 不足が生ずる場合
    - ・ 5 市で負担する
  - イ. 残金が生ずる場合
    - ・ 負担金の額（行政 50 千円とその他団体 30 千円）の出資割合に応じて返金する。ただし、1 団体あたりの返金額が 1 万円に満たなかった場合は、これまで連携会議に多く出資をしてきた 5 市に均等に配分する。
- (3) 会計事務は事務局代表の上越市新幹線・交通政策課が行うこととし、最終的な精算が終了した時点で解散時の会計監査委員に監査を受けるものとする